

2040年に向けた看護職員に求められる資質に関する御意見まとめ

各構成員から出された資質に関する御意見の中から、今後の看護職員に広く求められる基本的な資質の観点と考えられるものをまとめ、カテゴリーに分け整理したものを。

基本的な資質を検討するにあたっての御意見

- 多くの委員から、資質についての議論は重要。資質の向上は非常に重要である
 - 学生時代に全てを身につける必要はなく、**臨地実習の時点、卒業の時点、新人看護研修の時点等、段階的に考えていく必要**がある
 - 看護職員の背景は多種多様であり、**一つの同じ資質というところにまとめていくことは非常に困難**がある
 - まんじゅう型から富士山型へ、という言葉があるように、人材の裾野を広げて、**本人の能力や役割分担に応じたキャリアパスの構築・キャリアアップを支援**すべき
 - 一定程度、質の向上ということの議論は避けて通れない課題であると認識したうえで、**地域偏在の是正の議論や、医療提供体制の在り方とセットで議論**すべき
- そのほか、長く資質を生かしていくためには、**長期にわたって働き続けられる環境整備が求められる**といった御意見があった

看護職に求められる基本的な資質に関する御意見

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① コミュニケーション能力、対人能力 | ⑥ 多職種と連携・共働する力 |
| ② ジェネラリストとしての能力 | ⑦ AI、ICT技術を活用する能力 |
| ③ 患者の状態の変化に対応し、自律的に判断する能力 | ⑧ 管理、マネジメント力 |
| ④ 疾病予防、重症化予防のため先手を打つ力 | ⑨ 専門職として役割を見極め、果たす力 |
| ⑤ 地域包括ケアを担う能力（在宅・生活の理解） | |

2040年に向けた看護職員に求められる資質の御意見に関するまとめ

① コミュニケーション能力、対人能力

- コミュニケーションや観察は、基本的能力であり、実習・看護実践の必須条件
- 関係職種や機関と円滑に連携できるコミュニケーション能力
- 患者さんの心身の苦痛を理解して、受容と共感力で患者さんに寄り添える人材の育成は不可欠
- 寄り添う力、意思決定や家族の選択を支える力
- 臨床能力や、対話、連携、統合的判断などはAIに置き換えられない能力

② ジェネラリストとしての能力

広く全体をみる能力

- ジェネラリストの育成が必須。専門性や急性期は大事だが、治し支える医療に対しては、広く様々なものを見ていける力が大事
- ジェネラリストになるのは本当に大切に、実践能力や考える力、対人能力のアップは、実践を通じないと身につかない能力

多様な場で通用する能力

- 多様性を維持していく中で、看護が働く現場も様々であり、ジェネラリストの育成においては、さまざまな場で働けることが求められる
- 治す医療と治し支える医療の役割分担と連携の進展により、それぞれの場で求められる資質は異なる。疾患治療から生活を支える医療まで幅広い分野がある。働くフィールドによって求められる資質が異なっている

2040年に向けた看護職員に求められる資質の御意見に関するまとめ

③ 患者の状態の変化に対応し、自律的に判断する能力

- 看護師免許を与える時点で、訪問看護を含めたどのような場でも、**ある程度自分で判断し、基本的なニーズに対応**すべき。自身で判断できる看護師を養成しなければ地域医療は成り立たず、国民のニーズには応えられない
- 在宅でタイムリーに利用者の状態変化に対応するためには、**事前に状態変化を想定し**、医師から包括的指示を受けておき、検査データが豊富にない中でも、状態変化を見極めながら**即座に判断・対応できる力**が重要になる
- 意思決定支援や、その人の望む生活を実現するために、**対象者に対する深い理解と洞察力、倫理的感受性、合理的判断を導くためのクリティカルな思考力**が必要

④ 疾病予防、重症化予防のため先手を打つ力

- 自らアウトリーチし、**疾病予防や重症化予防に必要なサービスにつなげる先手を打つ力**がますます重要
- 入院することで要介護度が上がる。入院させないことが原則。治し支えるために、**病的な状態を持った利用者を理解して、暮らしを支える力**が必要

⑤ 地域包括ケアを担う能力（在宅・生活の理解）

- **地域の方々の生活を支えることが重要**。医療と介護の連携が重要であり、例えば訪問看護ステーション、介護保険施設、看多機、療養通所介護など、これまで以上にこういった分野での活躍を期待
- 看護師の働く場は病院から在宅へシフトし、限られた人数で地域に点在している**医療と介護の複合ニーズを持つ多くの人々に必要なときに必要な医療・看護をタイムリーに提供できる**看護師が求められる
- 病院と地域の連携課題として、病院の看護師が暮らしや在宅の実態を見る機会が少ない。まず地域や在宅を学び、その後急性期・回復期を学ぶ方法も有効。**在宅の療養の場所の理解**が必要
- **介護の現場にも接する機会を着実に増やしていく**ことが重要
- 地域包括ケアにおいて、**在宅の観点で市町村とのさらなる連携が今後の介護連携**で重要
- **医療だけでなく福祉制度についての知識**が必要

2040年に向けた看護職員に求められる資質の御意見に関するまとめ

⑥ 多職種と連携・共働する力

- 多職種連携を学生の頃から演習し繰り広げていかなければ、チームをつくっていくことは困難
- 多職種連携、関係構築能力、こういった創造性や適応力が求められる

⑦ AI、ICT技術を活用する能力

- デジタル機器やAI、D to P with Nの対応能力や、適切に解釈し看護に応用し判断する力が必要
- 看護の現場ではICT活用やAI導入が急速に進む。AIの特性やAIの判断の限界、リスク、個人情報保護やセキュリティの理解というのは、今後基本的な素養になる
- 確からしい情報を選別するための情報リテラシーが必要

⑧ 管理、マネジメント力

- サービス調整能力や、優れたマネジメント能力、限られた資源の中で工夫する力、こういった創造性や適応力が求められる
- 多職種の中でリーダーシップを執っていく力

⑨ 専門職として役割を見極め、果たす力

- 専門職として看護職が自らすべきことを見定められるプロフェッショナリズム
- 複合的ニーズを持つ方々への看護、介護、ケア、こうした力が求められる。暮らしを創造する力、患者や地域をエンパワーメントする力が求められる